

山陰経済

経済情報は本社政経部へ
TEL0852(32)3330

合衆閣僚会 開閉 農業関係者 政府を批判

TPPよき 山陰両県 交渉を注視 経済界は歓迎の声

TPP(環太平洋連携協定)交渉の参加12カ国による閣僚会合が30日、2日間の日程で米アトランタで開幕する。今回、合意できないれば、漂流する可能性が高まり、日本は「最大限の努力」(甘利明TPP担当相)で臨む。これまでの交渉過程では、日本政府がコメや牛、豚肉などの重要5項目で譲歩しているとの情報があり、山陰両県の農業関係者は、妥結に前のめりな政府の姿勢を批判した。(1面参照)

7月末の会合では、乳製品関税の扱いなどで交渉が難航し、大筋合意が流れた。一方、コメは7万ト前後の無関税輸入枠の設定や、牛肉の関税を現行の38・5%から段階的に9%に引き

下げる譲歩案が提示されたこととされ、政府に重要5項目の関税維持を求めた国会決議は有名無実化しつつある。

こうした状況に、JA島根中央会などの農業団体は島根県選出国会議員らに対し、国会決議の順守と交渉状況の情報開示を求めた緊急要請を実施。同JAの萬代宣雄会長は「国会決議が

生産現場からも不安や不満の声が上がった。雲南市吉田町吉田の農事組合法人「すがや」の錦織満組合長(62)は、聖域中の聖域とされたコメでの譲歩が伝えられる現状に「農家の意見が置き去りのまま交渉が進んでいる」と批判。米価下落や高齢化で耕作放棄地が年々拡大する中山間地の窮状を訴えた。

鳥取県大山町安原のコメ農家、諸遊壘司さん(65)は、コメ作りが集落を支えているとし、「(TPPの輸入枠設定で)米価が値崩れ

守られなかったら誰が責任をとるのか」とし、合意を急ぐ政府を強くけん制した。

鳥取県大山町安原のコメ農家、諸遊壘司さん(65)は、コメ作りが集落を支えているとし、「(TPPの輸入枠設定で)米価が値崩れ

しかねない。政府は地方創生を掲げるが、コメの値段を上げないと田舎は廃れるばかりだ」と不満を口にしていた。

一方、輸出入の拡大などが期待される経済界からは合意を望む意見が聞かれた。島根県鉄工会理事長でもある、松江商工会議所の児玉泰州副会長は「日本は資源小国。TPPは歓迎すべきこと」とし、安易な妥協をせず、(日本経済にプラスとなる)実効性ある仕組みをつくってほしい」と話した。(勝部浩文)

島根県産ヒノキとスギの3層パネル 国交省の認証取得

出雲木材市場 産学官連携で開発

木材販売の出雲木材市場(出雲市上塩治町、三吉庸善社長)が産学官連携で開発した、島根県産のヒノキとスギを使った3層パネルが、地震などに強い壁材「耐力壁」として、国土交

通省の認証を取得した。取得を機に3層パネルの認知度を広げ、県産材利用の促進を図る。

国土交通省の認証を取得したECO3PANELは出雲市上塩治町、出雲木材市場

構造材などの材料に使われる耐力壁は、地震や風などの耐性が高く、薄い単板を繊維の方向を変えて重ね合わせた合板などが用いられている。

3層パネル「ECO3

出雲木材市場の西本博光常務は「構造材だけでなく、内装やオフィス家具など用途を拡大し、需要を拡大したい」と話した。(熊谷美咲)

認証試験を行った建材試験センター(東京都)によると、3層パネル2枚(縦285センチ、横91センチ)を重ね、柱と柱の間に設置する「真壁」と呼ばれる仕様で、耐力壁としての強度を表す壁倍率が3・5倍となり、合板と同等レベルの耐久性が証明された。合板以外の真壁の仕様で、耐力壁の認証を得るのは島根県内で初めてという。

出雲木材市場の西本博光常務は「構造材だけでなく、内装やオフィス家具など用途を拡大し、需要を拡大したい」と話した。(熊谷美咲)



国土交通省の認証を取得したECO3PANELは出雲市上塩治町、出雲木材市場

3層パネル「ECO3

出雲木材市場の西本博光常務は「構造材だけでなく、内装やオフィス家具など用途を拡大し、需要を拡大したい」と話した。(熊谷美咲)

出雲木材市場の西本博光常務は「構造材だけでなく、内装やオフィス家具など用途を拡大し、需要を拡大したい」と話した。(熊谷美咲)